

A-103 欠食による調査

九州女大家政 行実 直美
○滝沢 和子
甲山 教子
岡藤 菊江
荻原 澄子

1. 近頃欠食をする人が非常に多いことにきづき（特に女性に）欠食とそれに関する諸原因を調べてみようと思った。

2. まず12～3歳から、25～6歳の独身女性を対象とし、調査を試みた。調査の方法は、調査用紙を配布し調査した。

3. 非欠食者に対する欠食者の割合は調査人員670名中191名でその割合は27%で約1/3を占めていた。起床時間は欠食者の43%が7.00時～7.59時に起きるのに対し、非欠食者の方は同じくこの時間におきる人は48%を占めていずれも第1位を占めている。

睡眠時間は欠食者が31%7.00～7.59時間睡眠をとるのに対し、非欠食者は36%が、8～8.59時間睡眠をとり欠食者の方が1時間睡眠時間が多いことがわかった。

就寝時間は両者とも11時～11.59時が第1位を占めているが非欠食者の方が7%増でわずかの差がみられる。

以下かかっている病気、かかりやすい病気、治癒する迄の期間、その他欠食の内容を調査しているので次回（発表の時）、報告することにする。